

一 童謡 さくらさくら
長唄 お月さま

前橋市文化協会
令和元年度ふれあい体験日本舞踊教室

小野里木葉實 小菅あおい 佐藤真綾 須田きい
須田めい 関口英理華 長澤望愛 西尾友里子
山田幸花 余郷莉紗子 和佐田咲弥 (五十音順)

二 大和楽 序の舞

香扇会
佐川 俊江

萩原雪夫・作詞 大和久満・作曲
堅田喜三久・作詞 米川裕枝・箏手付 花柳壽輔・振付

日本画家「上村松園」の有名な作品「序の舞」。
仕舞を舞っている女性のいまにも舞い出しそうな
美しい姿を画いています。

この女性をとうして、松園の生きる姿、恋に生
きるか絵に生きるか、悲しく激しく乱れゆるる心
を踊りで表現しています。曲も箏が入りとても女
性らしさのあるものです。

三 長唄 八島官女

花柳 美はる子

初演は天保元年中村座で上演されました、本名題
は「八島官女の業(やしまおちかんじよのなりわい)」
といえます。壇の浦合戦で敗れた平家方の官女が、
海女に身をやつして昔を偲びつつ踊ります。

四 長唄 水仙丹前

若柳 茂和歌

おおらかな曲にのって若衆ぶりが写されるこの
舞踊は、古風な歌舞伎舞踊の面影を再現していま
す。水仙の花の如く瑞々しい美しい色若衆が丹前
ぶりで遊歩して廓通いをする姿を描いたものです。
毛槍を振って槍踊りと展開されます。

作者不詳。作曲杵屋新右衛門。

五 常磐津 廓八景

花柳 寿名柚

吉原の行事や風物を近江八景になぞらえて、歌
いこまれた御祝儀曲です。他の御祝儀曲などに
比べると、かなりくだけた内容になっております。
舞踊も、御祝儀曲としての品位と重々しきに加え、
シャレ気のある振り付けとなっております。

六 義太夫 萬歳

坂東 春仙
坂東 仙翠

文化六年二月、大阪御霊社内の人形浄瑠璃で『花
競四季寿』という四変化の景事を上演した
うちの一つで、春「萬歳」夏「海女」秋「関寺小町」
冬「驚娘」の春夏秋冬です。

文楽では『式三番叟』とともに御祝儀曲の一つ
に数えられています。いかにも江戸の正月の風俗
に材を取った初春を寿ぐ、大らかな目出度さが描
かれている舞踊です。

七 長唄 多摩川

西川 扇富珠

明治四十一年(一九〇八)九月新橋演芸会に発
表した曲で、歌詞は水道の源である調布玉川(多
摩川)の、その山奥から下流の名所を唄い、府中
の大国魂神社の六所祭に布ざらしをはめ込んだも
ので素踊り曲としても振がつけられて居ります。

